SUPERSONIC

兵庫県立大学附属高等学校 【30回生】学年通信:第2号 2024年7月23日発行

~我らは結ぶ 広き心の学園で~

・高校生活、もうすぐ折り返し地点。

2年生になってはや4か月。附属高校も2年目を迎え、それぞれの将来の目標が少しずつその輪郭がはっきりしてきたのではないでしょうか。この夏は「ラボ訪問」や「オープンキャンパス」などから大いに刺激を受けて、勉強へのモチベーションにつなげていきましょう! 9月が終われば高校生活も後半戦に入ります。箱根駅伝にたとえるなら、この夏は往路のゴール手前、ラストスパートをかける時期。坂はキツイとは思いますが、この坂を上手に越えられたものに、栄光は輝くはず。夏の補習がはじまりました。さあ、ここで一気にペースアップして、それぞれが良い形で後期(後半戦)をむかえられるように、この夏全力で、超音速で駆け抜けていこう!!



〈生徒会長、副会長からのメッセージ〉



こんにちは。31代生徒会長の坂口あんじです!

3I 代生徒会では、生徒のみなさんと一緒に学校をつくりあげていける環境を目指していきます。みなさんの一度きりの高校生活、ゼッタイに最高な時間にします!

全力で楽しんでいきましょう!また、私は全校生徒と友達になりたいと思っています! 私の趣味はギター、ダンス、K-POP、茶道で最近はデジカメにハマっています!

いっぱいお話ししましょうー!

この度生徒会副会長になりました I 組の川上詩織です。入学当時からあこがれの存在だった執行部になることができて、ドキドキとワクワクでいっぱいです。私は放送部との円滑な連携ができるようにせいいっぱいがんばりたいです!!

これから | 年間みなさんと最っっ高の思い出をつくっていきたいと思っています! そのために「最高の副会長に、私はなる!!」





「行事だけではなく、日々の学校生活が楽しい!」これが私の理想です。

学校生活を楽しく送れるようにするために、より多くの人と交流ができるような場を設けていきたいと思います。また、挨拶ウィークなどを通して生徒会をより身近に感じてもらえるような活動もしていこうと考えています。皆さんの声を原点にして、県大の生徒、そして先生を含めたみんなで、一緒に学校生活をより充実したものにしていきましょう。(副会長:横山蓮)

『2年4組の文化祭』 2-4進藤萌以、谷口翔真

文化祭が終わって、この1ヵ月間本当に色々あったなと思いました。 新しいクラスでまとまっていない状態でのスタートだったので、うまくいく か不安しかなくて、でも、みんなと過ごしていくうちにクラスの子たちを知 ることができました。ときには意見のくい違いもあり、ぶつかり合うことも ありましたが、劇本番では今までにない最高のクラス劇ができました。

劇を最高のものにできたのは、やっぱり2年4組のみんなのおかげです。 今回の4組の劇で特に印象が強かったのは「ダンソン」ではないでしょうか。



実はこれは文化祭前日に完成したんです。そんな即興も含めこの劇はクラスメイトからのたくさんのアドバイスをもらいながら作り上げました。多くの困難がありましたが、やっぱりこのクラスには優しい人が多いのでこれからの行事もみんなで団結して楽しく過ごすことができると思います。本当に2年4組でよかったです。

『文化祭の思い出』 2-2 淺井小真智、松本美月

最初は練習や準備でも、人がなかなか集まらなくて、劇が全然進まなくて、 文化祭本番に完成できるかどうか、正直とても不安でした。ゴールデンウィーク明けくらいから皆積極的に集まるようになって、どんどん完成に近づいてきました。色んな人がクラスの皆や劇などもまとめてくれて、全員が「劇を完成させよう!」という気持ちが高まっていきました。ついに文化祭当日。 馬竹先生もたくさん応援してくれて、クラス皆でやる気を出して挑みました!

クラス全員が「2組の劇は絶対成功する」そう強く思って始まった劇は 様々なトラブルが起きても機転を利かせて動くことができました。それぞれが



自分の役割だけでなく、足りない部分をカバーしました。2組だからこそできたあの劇も準備も、忘れられない思い出となりました。 これからも行事だけでなく、普段の生活から一致団結し、たくさんの思い出をつくっていきたいです。

『スタート・ダッシュ』 2-3 谷河茉咲、長谷川桃子

私は、文化祭を通してクラスが全体的にまとまった気がします。 クラス全員で協力して道具を作ったり、セリフなどを完成させたり したことで、とっても良い劇にすることができました。そして、 まだ新しいクラスになって間もない大イベントでしたが、この文化 祭を通して、クラス内でのコミュニケーションが増え、活気も出て きました。劇の練習中は、大変なことも多くあり、また、リハーサ ルでは「本当にこれで大丈夫かな」という不安もありましたが、ク



ラスの皆一人ひとりがリハーサルでの反省を活かして、本番は完璧なものを作り上げようという気持ちを一つにして、本番は最高な劇を作り上げました。まさに、新クラスのスタートダッシュになりました。











★劇を支えるバイプレイヤーたち!

※1、5組は次号(8/23発行予定)に掲載します。

7月下旬~8月の行事予定

〈7月〉22(月)~26(金) 前期夏季補習、三者面談

26(金)ラボ訪問(地域ケア開発研究所、

自然・環境科学研究所)

28 (日) 日タイ友好親善訪問 (~8/7)

29(月)ラボ訪問(政策科学研究所)

000000000000000

- 〈8月〉 1 (木) オーストラリア語学研修(~8/14)
 - 9(金)ラボ訪問(理学部、看護学部)
 - 19(月)後期夏季補習(1 限国語)
 - 22(木)第2回全統記述模試(希望者)
 - 22(木)ラボ訪問(高度産業科学技術研究所)
 - 23(金)登校日(2限~課題回収、解答配布、大掃除)
 - 24(土)第1回オープン・ハイスクール
 - 29 (木) ラボ訪問 (社会情報科学研究所)
 - 30(金)夏季休業終了